「想い」は繋がり、続いていく クライストチャーチ市を訪ねて

クライストチャーチ市とにかほ市との「繋がり」

世界有数の南極探検に関する資料を持つクライストチャーチ市のカンタベリー博物館に、白瀬中尉の資料が加わった縁から、白瀬南極探検隊記念館は平成4年にカンタベリー博物館と姉妹館提携調印を交わし、友好を深めてきました。

平成18年度からは中学生訪問団の交流を実施しており、今回で3回目の訪問。市内中学校生徒8名が3月18日から25日の日程でクライストチャーチ市を訪問しました。

▲にかほ市からクライストチャーチ市までは直線距離にして、なんと約10,000km

クライストチャーチ市はこんなところ

◆**概　要**

クライストチャーチ市は、ニュージーランド南島中部、カンタベリー平野東海岸側に位置しており、人口は約37万6千人でニュージーランド内では2番目に人口の多い都市となっています。

◆**気　候**

西岸海洋性気候の気候区にあり、1年を通して温暖な気候に恵まれています。

夏の気温は17℃から30℃、冬は2℃から12℃、年間降水量は約650㎜と非常に過ごしやすい土地です。

◆**産　業**

酪農、畜産、農業が盛んに行われています。この他にも製造業、不動産業、近年では観光客も多く観光産業なども盛んです。

国際交流協会副会長・白瀬ニュージーランド協会会長　佐々木　久弥

今回の訪問団派遣事業は、例年に無い「白瀬づくし」であったと感じています。オーストラリア博物館では白瀬中尉が贈った日本刀を手に取らんばかりに見学。さらに、シドニーに停泊中だった「南極観測船しらせ」に乗船。ニュージーランドではカンタベリー博物館で、にかほ市が寄贈した白瀬中尉の胸像を見学。白瀬中尉の偉大な功績を、国を越え、お互いに敬意と賞賛を以て大事にし、今日に続いているのです。

クライストチャーチ市では地震の傷跡と復興最中の街並みに目を奪われて来ました。学校では、日本語学級を見学しました。生徒達も想像を超える体験をして来たはずです。

子供たちが、この体験から刺激を受け、今後の人生のヒントにしていく為、今まで以上に子供たちをサポートしていかなくてはなりません。今回の機会を作って戴いた関係各位に感謝を申し上げます。

日にち	内　容
3月18日	出発式
	秋田空港着・発
	韓　国／仁川空港着・発
19日	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ／シドニー空港着
	シドニー市内見学・宿泊
20日	ｵｰｽﾄﾗﾘｱ／シドニー空港着・発
	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ／クライストチャーチ空港着
	歓迎オリエンテーション
	ホストと対面
21日	カンタベリー博物館見学
	南極センター見学
	クライストチャーチ市内観光
	ＮＺ式バーベキュー体験
22日	カシミア高校・小学校で授業体験
	市内観光など
	ホストとの夕食会
23日	終日ホストファミリーとの自由行動
24日	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ／クライストチャーチ空港発
	韓　国／仁川空港着
25日	韓　国／仁川空港発・秋田空港着
	到着式

◆**1日目**

川越　陸（金浦中1年）

待ちに待ったクライストチャーチ市訪問団の活動が始まりました。この旅でどんな体験ができるのかと考えると、とても楽しみでした。

韓国・仁川空港を経由し私たち訪問団はオーストラリアのシドニーへ向かいました。飛行機の中ではあまり眠れませんでした。まだ見ぬ土地への期待でドキドキしました。

◆**2日目**

須田海斗（金浦中1年）

シドニーに到着し空港の外に出ると、日本とはまるで違う街並にとても興奮しました。その後、オーストラリア博物館を訪問し、白瀬中尉が贈った日本刀などを見学しました。

また、シドニーに停泊中の「南極観測船しらせ」に乗船することもでき、多くのことを学べた1日でした。

◆**3日目**

北村明友（金浦中2年）

この日は飛行機でニュージーランド・クライストチャーチ市に向かいました。

クライストチャーチ市に到着すると、平成22年ににかほ市を訪問したクライストチャーチ市訪問団の団長であるドッヂさんが迎えて下さいました。

そしてホストと対面。私のホストは日本語を少しだけ話せるのですが、ほとんどが英語で、コミュニケーションに苦労しました。夕食時でも質問に答えるのに必死で、なかなか食事ができません。緊張続きの1日でした。

◆**4日目**

齋藤菜々子（仁賀保中2年）

カンタベリー博物館を訪問し白瀬中尉について改めて学びました。博物館では、世界的に有名な南極探検家であるアムンセンやスコットと同等に白瀬中尉が扱われており、その偉大さを実感することができました。

夜はホストたちとバーベキューをしました。食事が口に合うか不安でしたが、おいしいものばかりだったことが印象に残っています。食後にはバスケットなどをして親睦を深めることができました。

◆**5日目**

佐々木祥日（象潟中1年）

ホストとの自由時間。この日は、ミニゴルフや買い物などをしました。

買い物で感じたことは、ニュージーランドの雑貨は日本のものと比較すると色がはっきりしていて、シンプルなデザインの物が多いということです。また、日本の漫画の英語版を買い。英語なので今は全く読めませんが、英語を勉強して読めるようになりたいと思っています。

◆**6日目**

佐々木玲美（象潟中1年）

別れの日、朝早く空港へ向かいました。ホストと初めて対面した時は不安で一杯だった私ですが、この日はお別れが辛かったです。

空港でホストファミリーと自分たちの似顔絵と感謝の言葉を書いた紙を渡しました。ホストマザーが、「壁に飾っとくね」と言ってくれたので、嬉しく思いました。

◆**7日目**

鈴木　蛍冬（象潟中1年）

最終日、秋田に帰る飛行機に乗る時間になりました。

とても名残惜しく、時間だけは刻々と過ぎていき、あっという間に秋田空港に到着。

しかし、にかほ市に到着すると、友人の出迎えがあり嬉しく思いました。到着式が終わって、家に帰る車の中でも、この旅の話が尽きる事はありませんでした。この旅はあっという間でしたが、貴重な体験をたくさんできました。